



特集

夏の節電... 電気代を節約するより電気代 がかからない家ってどんな家？

最近では外壁塗料も省エネに一役買っているのをご存じですか？遮熱塗料がそれです。遮熱と断熱は同じように受け止められがちですが、その意味合いは違います。熱の伝わり方には伝導・対流・放射(ふくしゃ)の3種類があります。断熱と遮熱の違いを一言で言

遮熱って知ってます？

この夏、皆さんは節電を意識しながら生活をされていると思いますが、フツーに生活をしていて電気代が安くなるほうがいいですか？今回は光熱費を抑えた家づくりを特集します。

家の中で光熱費を抑えるために効果があるのは断熱です。住宅の断熱性を高めると外気の影響を受けにくくなり暖房効率が上がります。新築だけでなく、最近では断熱リフォームも増えてきました。また、壁や床の断熱をしっかりとすることも意外に見落としがちなポイントです。開口部の断熱性能が低いと玄関ドアや窓などから、夏場は冷気(冬場は暖気)が逃げていってしまいます。この対策としては最近ではやりの内窓リフォームがおすすめです。

電気代がかからない家？

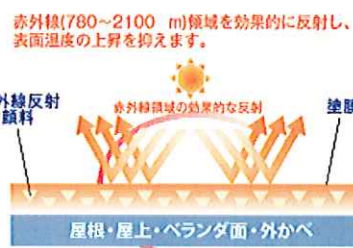


「断熱」とは主に「伝導」による熱の移動を妨げる場合に用います。「遮熱」とは「放射」による熱の移動を妨げる場合に用います。遮熱塗料は外壁や屋根の熱を輻射で室内への熱の侵入を抑えます。外壁を塗り替える際には検討してみてください。いかがでしょうか？

究極は「創エネ」

今回の特集は光熱費を抑える家づくりについてご紹介していきます。究極は家でエネルギーを創る「創エネ」です。その代表的商品が太陽光発電です。現在、国の補助金制度も充実し各メーカーの販売攻勢も激化しています。太陽光発電は二酸化炭素も出さず、環境にやさしいエネルギーでもあります。断熱や遮熱を上手に利用して消費エネルギーを最小限に抑え、太陽光発電で「創エネ」。電気代のかからない家づくり、こんな生活は

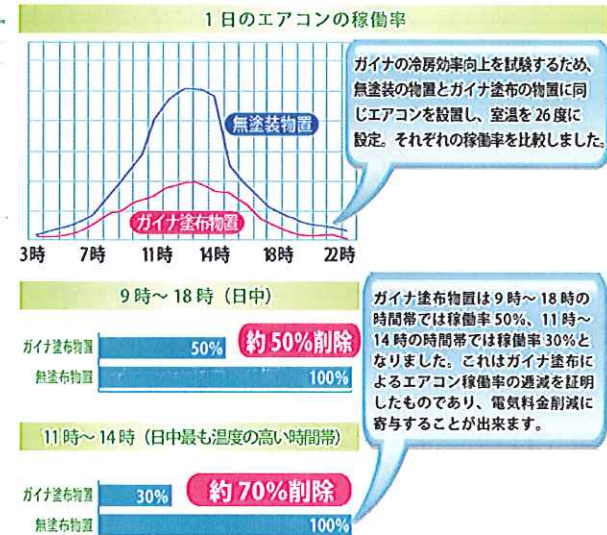
遮熱のしくみ



外壁の塗り替えで省エネしませんか？

■ ガイナをぬるだけで、夏は涼しく、冬暖かに

ガイナを住宅の屋根・外壁、内装に塗ると、太陽光線や熱、音や汚れなどを跳ね返し、断熱・遮熱などの効果を発揮。加えて、太陽光線や照明の光を受けたセラミックが、イオン化作用をもたらす、室内の空気質を改善。マイナスイオンとプラスイオンのバランスがとれた心地よい状態にします。



通常の家の場合

- ① 日中の熱が建物にたまっていく
- ② 時間がたつにつれ室内に熱が入っていく

建物が熱をもつと夜になっても暑い

ガイナを塗布した家の場合

- ① 太陽からの熱を遮る
- ② 遠赤外線放射によって建物に熱がたまりにくい

建物が熱くなりにくく夜間も涼しい

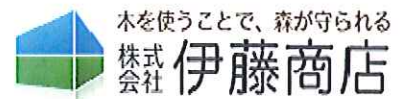


ガイナを塗布した家の場合

ガイナの塗膜は薄くても、断熱性能を持っている。それで全体をすき間なく包むので、室内で発生した熱が逃げるのを防ぐ。

お問い合わせ
株式会社伊藤商店工務部
お問い合わせ
042-524-2551
担当：坂西

住まいに関することは何でも
お気軽にご相談ください



東京都立川市富士見町4-23-1
工務部：042-524-2551

